

子供の貧困対策 子ども生活福祉部 子ども未来政策課資料より

⇒ **絶対的貧困** : 誰であっても必要な食料・医療など、その社会全体の生活レベルに関係なく必要なものが欠けており、最低限の「衣・食・住」を満たす程度 of 生活水準にないもの

⇒ **相対的貧困** : その社会の通常 of 生活レベルから一定の距離以上の生活状態にあるもの

↓
沖縄県の相対的貧困率は **29.9%** [再分配後]
(全国平均 **16.3%**)
(愛知・東京 **5%**)

沖縄県子どもの貧困対策計画

- 子どもの将来が育った環境に左右されない社会を目指す
- 特に教育の支援においては、学校をプラットフォームと位置づける

キーワードは「つなぎ」

- ⇒ 学校を窓口として、貧困世帯を教育委員会や福祉部局へつなぐ
- ⇒ 学力を底上げし、学習環境の確立と学力保障を行う

↓
貧困の連鎖を断ち切る

就学支援体制・教育相談体制・生徒指導体制・進路指導体制を充実させ、他の関係機関につなぐことも念頭に指導にあたろう!

□ 27.12.24

□ H28.2.6

「昼食困窮」3割実感

PTA会費や教材費など
負担が増えない
生徒がいるか



教材を助けるために
アルバイトをしている
生徒がいるか



新報・高教組調査

校納金「払えない」7割
経済力「学力影響」9割

高校生の貧困 教員認識

「子どもの貧困」
これから
西米津高等学校
県立高校生の不登校傾向と
家庭環境

不登校 保護世帯で5倍

県立高校 7校調査
家庭の経済状況影響



□ H27. 12. 25

□ H28. 1. 29

子の貧困対策新設

項目	内容
1. 対象児童	18歳未満で、世帯収入が一定水準以下で、かつ、親が一定水準以下の所得を得ていない児童
2. 対象世帯	18歳未満の児童が世帯に在籍し、かつ、世帯収入が一定水準以下で、かつ、親が一定水準以下の所得を得ていない世帯
3. 支援内容	1. 生活費の補助 2. 学費の補助 3. 医療費の補助 4. 教育費の補助 5. 住居費の補助 6. 生活保護費の補助 7. 障害児福祉費の補助 8. その他
4. 実施期間	令和7年度から令和10年度
5. 実施地域	全県

16年度沖縄予算
支援経費に10億円
人材配置や施設助成

県は25日、令和7年度（令和7年度）の沖縄県予算案を公表した。児童福祉費のなかで、新たに「子の貧困対策新設」を創設し、支援経費に10億円を計上した。また、人材配置や施設助成にも重点を置いている。

この新設は、18歳未満で、世帯収入が一定水準以下で、かつ、親が一定水準以下の所得を得ていない児童を対象とする。支援内容は、生活費の補助、学費の補助、医療費の補助、教育費の補助、住居費の補助、生活保護費の補助、障害児福祉費の補助、その他などである。

実施期間は、令和7年度から令和10年度まで。実施地域は、全県である。

子の貧困沖縄30%

県が調査 30億円基金創設へ

県は29日、県民生活調査の結果を発表した。調査によると、県民生活は概ね安定しているものの、子の貧困が深刻化していることが明らかになった。特に、低所得世帯の子どもの割合が30%に達している。県は、この問題を解決するために、30億円の基金を創設し、支援策を実施する方針だ。

調査によると、県の世帯収入が一定水準以下で、かつ、親が一定水準以下の所得を得ていない児童の割合は、前年比で1.5ポイント増加した。特に、18歳未満の児童の割合が増加している。これは、子の貧困が深刻化していることを示している。

県は、この問題を解決するために、30億円の基金を創設し、支援策を実施する方針だ。支援策としては、生活費の補助、学費の補助、医療費の補助、教育費の補助、住居費の補助、生活保護費の補助、障害児福祉費の補助、その他などがある。

困窮世帯訴え切実



「食料買えぬ」半数経験
 ひとり親、全国より深刻

「53%」週4日以上

30%超、食費・学費に充当

困窮世帯の訴えが切実だ。食料が買えない経験をした世帯は半数を超えている。特にひとり親世帯は、全国よりも深刻な状況にある。週4日以上食料が買えない世帯は53%に達している。また、食費や学費に充当している世帯は30%を超えている。

困窮世帯の生活は非常に厳しい。食料が買えない経験をした世帯は半数を超えている。特にひとり親世帯は、全国よりも深刻な状況にある。週4日以上食料が買えない世帯は53%に達している。また、食費や学費に充当している世帯は30%を超えている。

「食料買えぬ」半数経験
 ひとり親、全国より深刻

「53%」週4日以上

30%超、食費・学費に充当

困窮世帯の生活は非常に厳しい。食料が買えない経験をした世帯は半数を超えている。特にひとり親世帯は、全国よりも深刻な状況にある。週4日以上食料が買えない世帯は53%に達している。また、食費や学費に充当している世帯は30%を超えている。

困窮世帯の生活は非常に厳しい。食料が買えない経験をした世帯は半数を超えている。特にひとり親世帯は、全国よりも深刻な状況にある。週4日以上食料が買えない世帯は53%に達している。また、食費や学費に充当している世帯は30%を超えている。

高校生 困窮世帯3割



バイト「家計に」34%
 進路選択にも影響

高校生 困窮世帯3割

高校生3割が困窮世帯に所属していることが明らかになった。困窮世帯の高校生は、アルバイトで家計を助ける必要がある。その割合は34%に達している。また、困窮世帯の高校生は、進路選択にも大きな影響を受けている。

困窮世帯の高校生は、アルバイトで家計を助ける必要がある。その割合は34%に達している。また、困窮世帯の高校生は、進路選択にも大きな影響を受けている。